

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校教育総務施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員及び学校施設利用者	意図	施設の不良箇所の修繕、樹木の剪定等による日常的な施設の維持・保全
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設を維持するための光熱水費、各種点検・保険料、土地使用料等の支出 小学校施設の日常的な管理における小規模な破損、不良箇所の修繕 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の老朽化に伴い、修繕が必要な箇所は増加、内容も多岐 修繕実施件数、費用は横ばいであるが、樹木管理においての剪定等が困難になる傾向 デザインビルド型包括管理業務委託の採用により設備の保守点検業務の予算及び発注事務を財産活用課に移管 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	施設修繕実施件数	277	182	209	件	→→	
②	電気料	64245281	49581768	57263013	円	↓↓↓		
③	ガス料金	9714466	13559845	17378698	円	↓↓↓		
④	上下水道料金	64065032	64010691	62525653	円	↓↓↓		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・施設の修繕は、予算の範囲内で実施したものであり、指標としては判断しにくい。 ・光熱水使用量は、学校利用者の取り組みもあり、低減される傾向であるが、その年の気候状況の影響を受けやすく、また、使用料自体が値上がりの傾向にある。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		222,447,044	216,776,028	217,398,440				
事業費(b)(円)		213,636,944	209,567,778	210,881,640				
うち一般財源		213,636,944	209,567,778	207,400,778				
職員給与と費(c)(円)		8,810,100	7,208,250	6,516,800				
人役・職員(人)		1.17	1.05	0.90				
人役・再任用(人)				0.20				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	光熱水費、委託料の削減。	③取組の課題	限られた予算の中で、毎年進行する施設及び設備の経年劣化に対応するためには優先順位を的確に判断することが必要。
②今年度(H29)に実施した取組	保守点検業務委託の発注方法及び仕様書の見直し。	④今後(H30以降)の改善計画	事後保全から予防保全への切替を目指し、計画的な維持管理を実施していく。